

解答

問一

祖母を「くして泣いている子に対して、どうなぐさめたらいいのか分からずにいるときに、梨紗子が優しい言葉をかけたこと。

問二

かな子は背

問三

声をかけてくれたのは梨紗子ではなく、かな子だったことを残念に思う気持ち。

問四

二人で遊ぶのはえんりょしたい

問五

イ

向山へ行くことにみんなに反対されるかもしれないと思ったから。

問六

梨紗子がさんせいしたから。

問七

問八

ウ

梨紗子は夏美と良い友だちになれてよかつたといつていていたのに、綾と二人で先に行ってしまい、夏美がついてきていないことにも気づかず、のん気そうにしていたから。

問九

イ

梨紗子は夏美と良い友だちになれてよかつたといつていていたのに、綾と二人で先に行ってしまい、夏美がみんなに心配をかけたことをあやまっているところ。

問十

ウ

夏美に親しくしてくれるかな子を遠ざけてきたというのに、夏美の良いところを認めてくれるかな子の優しさやありがたさに気づき、幸せに感じたから。

問十一

イ

目になみだがたまっている様子。

問十二

ウ

ア ことわ「つた」 イ 簡単 ウ 縁 エ 借「りた」 オ 危険

解説

一

問十三

夏美は、かな子に対し「二人で遊ぶのはえんりょしたい」と距離をおいてきたのですが、かな子は、「げた箱まで友だちを送った」「やっとかばんを持ってあげた」という夏美の様子をよく見てくれており、「優しい」と認め、夏美を大事に思ってくれています。そのことに気づいた夏美は、うれしくなります。

二

① 投・イ

② 機・力

③ 然・エ